



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 高松機械工業株式会社

コード番号 6155 URL http://www.takamaz.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高松 喜与志

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)溝口 清

(TEL)076-274-0123(代表)

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,345	19.6	275	204.7	317	248.9	215	473.0
27年3月期第1四半期	3,633	44.5	90	—	91	—	37	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 257百万円(-%) 27年3月期第1四半期 △33百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	19.64	—
27年3月期第1四半期	3.45	3.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	19,720	11,465	58.0
27年3月期	19,574	11,303	57.7

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 11,435百万円 27年3月期 11,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	6.00	—	12.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,016	16.6	941	64.6	992	71.5	674	88.7	61.34
通期	20,703	14.9	2,189	61.6	2,274	55.8	1,562	66.8	142.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	11,020,000株	27年3月期	11,020,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	28,629株	27年3月期	28,629株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	10,991,371株	27年3月期1Q	10,925,854株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国景気の減速やギリシャ債務問題などから先行きの見通しが不透明な状況であったものの、緩やかな景気回復を続けてきました。

工作機械業界におきましては、中国や欧州の問題などから外需の先行きに慎重な見方が出てきたものの、5か月連続で単月業界受注額が1,300億円を超えるなど好調な受注状況が続いてきました。特に内需が生産の国内回帰や中小企業の設備投資増加などから力強く推移し、平成27年6月では平成20年3月以来、7年3か月ぶりとなる600億円台を記録しました。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結売上高は43億45百万円と、前年同期に比べ7億12百万円(19.6%増)の増収、営業利益は2億75百万円(前年同期比204.7%増)、経常利益は3億17百万円(同248.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億15百万円(同473.0%増)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 工作機械事業

工作機械事業におきましては、自動車関連メーカーの需要が好調を維持し、海外経済の減速等の懸念事項がありつつも、先行きの見通しも良好なまま推移してきました。

国内では、円安や補助金等の政策効果から、大手ユーザの新規設備投資や設備更新、中小ユーザの設備更新が進み、需要が増加しました。海外では、中国や欧州向けの需要はやや落ち込んだものの、北米向けの需要が好調に推移してきました。

このような状況の中、当社グループはユーザニーズに応える提案型営業によって受注獲得に努めるとともに、高水準の需要に応じていくための生産能力引き上げをはかってきました。内面研削盤やマシニングセンタ等の設備投資計画を推進してきたほか、外注の効果的活用や生産の最適化・効率化に取り組んできました。

研究開発におきましては、平成27年5月に開かれたMEX金沢にて、需要が高い2スピンドルCNC旋盤の「XW-60」を発表しました。同機種では、内部の機械配置を見直して更なる省スペース化をはかりつつも、加工能力の向上、サイクルタイムの短縮を実現しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における工作機械受注高は37億10百万円(前年同期比3.4%減)となり、工作機械受注残高は72億84百万円(同6.4%減)となりました。

売上高におきましては、38億83百万円(同18.4%増)となり、その内訳は、内需20億24百万円(同30.0%増)、外需18億58百万円(同7.9%増)、外需比率47.9%(前年同期は52.5%)であります。また、営業利益は2億67百万円(前年同期比158.6%増)となりました。

② IT関連製造装置事業

IT関連製造装置事業におきましては、半導体向け需要や液晶向け引合が増加するなど、事業環境は良好に推移してきました。このような状況の中、新規開拓と生産対応の強化による売上高の確保とリードタイムの短縮や粗利管理の徹底による利益の改善に努めてきました。

この結果、売上高は2億5百万円(前年同期比32.2%増)となり、営業利益は17百万円(前年同期は10百万円の営業損失)となりました。

③ 自動車部品加工事業

自動車部品加工事業におきましては、好調な自動車産業を背景に主要取引先から堅調な受注があり、計画を上回って推移してきました。このような状況の中、生産体制の強化と検討を進めてきたほか、新規受注の獲得及び新規取引先の開拓に取り組んできました。また、平成27年2月20日に設立したタイの連結子会社において、立ち上げ準備に努め、平成27年5月より工場を稼働しました。

この結果、売上高は2億56百万円(前年同期比29.2%増)となり、営業損失は2百万円(前年同期は2百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は197億20百万円となり、前連結会計年度末に比べて、1億45百万円増加しました。

その主な要因としましては、現金及び預金が4億41百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1億83百万円、たな卸資産が2億15百万円、投資その他の資産(投資有価証券)が84百万円増加したことによるものです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は82億54百万円となり、前連結会計年度末に比べて、16百万円減少しました。

その主な要因としましては、電子記録債務が16億18百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が13億67百万円、未払法人税等が1億61百万円、賞与引当金が1億3百万円減少したことによるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は114億65百万円となり、前連結会計年度末に比べて、1億62百万円増加しました。

その主な要因としましては、利益剰余金が1億5百万円増加したことによるものです。なお、自己資本比率は58.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,875	3,434
受取手形及び売掛金	5,459	5,643
電子記録債権	829	840
商品及び製品	468	567
仕掛品	1,231	1,338
原材料及び貯蔵品	945	953
その他	376	454
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	13,172	13,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,520	1,505
土地	2,287	2,287
その他(純額)	909	948
有形固定資産合計	4,717	4,741
無形固定資産	158	147
投資その他の資産		
その他	1,560	1,646
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	1,525	1,612
固定資産合計	6,401	6,501
資産合計	19,574	19,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,664	2,296
電子記録債務	518	2,137
短期借入金	948	848
未払法人税等	338	176
賞与引当金	185	81
役員賞与引当金	37	9
製品保証引当金	55	55
その他	810	973
流動負債合計	6,559	6,579
固定負債		
長期借入金	731	676
役員退職慰労引当金	370	375
退職給付に係る負債	392	391
その他	216	230
固定負債合計	1,710	1,674
負債合計	8,270	8,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,835	1,835
資本剰余金	1,818	1,818
利益剰余金	6,879	6,985
自己株式	△11	△11
株主資本合計	10,521	10,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175	223
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	450	451
退職給付に係る調整累計額	140	132
その他の包括利益累計額合計	765	807
非支配株主持分	16	30
純資産合計	11,303	11,465
負債純資産合計	19,574	19,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,633	4,345
売上原価	2,777	3,280
売上総利益	855	1,064
販売費及び一般管理費	765	789
営業利益	90	275
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	5	6
持分法による投資利益	1	13
その他	8	23
営業外収益合計	16	46
営業外費用		
支払利息	3	3
為替差損	11	—
その他	0	0
営業外費用合計	15	3
経常利益	91	317
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	93	317
法人税、住民税及び事業税	102	158
法人税等調整額	△47	△56
法人税等合計	55	102
四半期純利益	37	215
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	37	215

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	37	215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	48
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△11	△1
退職給付に係る調整額	△4	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	△32	2
その他の包括利益合計	△70	42
四半期包括利益	△33	257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33	258
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。